



「結実」に向けて充実の日々に!

まだまだ残暑の厳しい中、2学期がスタートして約2週間が過ぎました。1学期は臨時休業、それに伴う7時間授業の実施など、大変な状況にもかかわらず、一生懸命乗り切ってきたみなさん。2学期はいいスタートが切れているでしょうか。新型コロナウイルスは今後も予断を許さない状況ではありますが、全校生徒の力で、よりよい学校生活、よりよい学習の雰囲気を作っていきましょう。

3月の、みなさん一人一人の「結実」にむけて、1日1日が大切な日々です。

自分の、みんなの命を守るために

9月1日は防災の日でした。防災の日は1923年9月1日に発生し、10万人以上の死者、行方不明者を出した「関東大震災」に由来して設定された日です。

詫間中学校でも例年、9月に避難訓練を行い、須田保育所の子どもたちとともに、校舎4階に避難したりしています。ただ、今年は新型コロナウイルスの関係もあり、いつ実施するかについては検討しているところです。

夏休み中の8月6日と8月18日に、防災を研究している香川大学の先生、香川県防災士会の方、香川県教育委員会の主事、三豊市教育委員会の主事、須田保育所の所長さんをお迎えし、新たな避難計画について検討する会をもちました。

【詫間中学校の災害環境】

- 最大クラスの地震時の震度7
- 津波浸水想定深さ0.3~1.0m
- 高潮による浸水想定深さ2.0~3.0m
- 浸水30cm到達の時間180分
- 液状化危険度A

こうした状況を踏まえ、最悪の状態を想定し、校舎の4階ではなく、外へ避難していく新たな計画を作成中です。

また、9月1日には、市教育委員会から配布された、防災用折りたたみヘルメットを、全校生徒が机の横に常備するようにしました。

いざという時には、このヘルメットをかぶって避難します。

災害はいつ起こるか分かりません。

明日かもしれません。

常にそうした意識をもって生活しましょう。

自分の、そしてみんなの命を守るのは、普段からの心がけと準備です。



【防災についての会議】



【防災用ヘルメットを全校生徒に配布】